

広島大学

令和 7 年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜Ⅱ型

解答例又は出題の意図等

歯学部 歯学科

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

問1

本問題は「研究における創造性」について、研究の考え方、創造性を文章から読み取らせ、受験生の研究に対する考え方を問うものである。

研究を行うにあたっては、仮説を立て、それを立証していくことの繰り返しである。その過程で創造性とは仮説を立てる力のことであり、提案力、課題設定能力とも一致する言葉である。仮説を立てるためにはひらめきが必要となる。例えば、実験を進める過程で、「Aという物質にBという物質を加えると何か起こるのではないか」、「このような実験を新たに取り入れると新しい結果が出るのではないか」など、自身のひらめきから仮説を立てることである。しかし、ひらめきは偶然出てくる場合もあれば、確かな知識を基にして出てくる場合もある。

創造性を育むには、研究のある課題に直面した際に、新たに必要な知識を様々な方法で入手し、深く考えることでより良いひらめきが出てくるものである。

受験生が研究の創造性について、具体的にどのように論理的に考え、表現するか、また創造性を持つために必要なことなどの説明について評価する。

問2

本問題中の文章では、何かを成し遂げた経験の大切さや、「著作権保護の観点から、公表していません。」というモノサシを持つことの大切さについて、著者の考えが記述されている。

文章を読んだ後、受験生自身がこれまでの経験で得てきた「著作権保護の観点から、公表していません。」について記述する問題である。もしくは将来自分で獲得していきたい「著作権保護の観点から、公表していません。」について記述することも可能である。解答では、それぞれの受験生がどのような「著作権保護の観点から、公表していません。」を持っているか、それらの「著作権保護の観点から、公表していません。」を持っていることが自身にとってどのように役に立ってきたか、「著作権保護の観点から、公表していません。」を持っていることが自身の成長やより良い方向への変化に大切であるか否か、およびモノサシを持つことが大切である、もしくは大切でないとする理由について、自身の思慮を展開することが可能である。また過去から現在まで順次獲得してきた自身のモノサシを分析しながら、自分が将来どのようなモノサシを獲得したいか、もしくは獲得したモノサシを将来どのように活用したいか等、記述することも可能である。

解答は受験生によって様々な方向に展開されることが予測されるが、解答の中で、受験生の将来への良き成長目標、建設的・論理的な思考力、創造的・独創的視点、協調性、将来医療人となるための豊かな人間性が読み取れる内容を期待する。